

令和3年第3回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	17	横山悦子	<p>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について</p> <p>(1) 重症化した患者や重症化リスクの高い者への医療提供体制について</p> <p>(2) 臨時医療施設の設置及び宿泊療養施設の増設について</p> <p>(3) 宿泊療養施設での抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の投与について</p> <p>(4) 自宅療養者と同居する者に対する感染予防対策と合わせて、家庭内、職場内感染対策の強化について</p> <p>(5) 若い人等を対象としたワクチン接種会場の設置について</p> <p>(6) ワクチン副反応者と市の関わりについて</p> <p>(7) 公立学校におけるオンライン教育の進捗状況と課題について</p> <p>(8) 家庭内にPCR検査対象者、濃厚接触者、コロナ陽性者が出ると、同居者が外出不能となるので、食糧の宅配のシステム化、体制の構築が急務と考えるが、所見を伺う</p> <p>2 介護予防施策のさらなる推進について</p> <p>(1) 緩和型通所介護施設の開設により要支援や介護状態から脱する環境整備について伺う。 例えば接骨院、整骨院、鍼灸指圧院、整体院で要支援者を受け入れる支援体制について</p>
2	22	山田和明	<p>1 新型コロナウイルス感染者が増す中、自宅療養者への対応について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染者が増え続け、そのため、自宅療養者も増えており、それらの人々の生活を支えるために、大崎市が積極的に役割を担うことができる体制整備をすべきだが、所見を伺う</p> <p>2 水害に強いまちづくり事業と内水対策について</p> <p>(1) 水害に強いまちづくり事業で進めている二線堤バイパスは、全部完成に至っていないが関係機関への働きかけについて、所見を伺う</p> <p>(2) 内水対策として東側二線堤バイパス沿いの現在ある用水路を3倍ほどの流下能力にし、新たな用水路整備に取り組むべきではないのか伺う</p> <p>(3) 大雨時には吉田川では氾濫危険水位に達すると排水機場の運転が停止になるが、一律の停止ではなく住宅地の内水排除を行っている排水機場の運転は継続できるよう国交省と協議すべきだが、所見を伺う</p> <p>(4) 住宅地の排水をしている山王江排水機場を国交省直轄の排水施設にする働きかけについて、所見を伺う</p> <p>3 医療的ケア児支援法を施行することについて</p> <p>(1) 医療的ケア児支援法の施行により医療的ケア児が保育</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	3	鹿野良太	<p>所や学校などに通う機会が保障され、家族の負担軽減につながるが大崎市の対応について伺う</p> <p>(2) 医療的ケア児の家族に助言したり、制度の情報を提供したりする医療的ケア児支援サイトを開設してはどうか伺う</p> <p>1 証拠に基づく政策立案（EBPM）について</p> <p>(1) EBPMに対する本市の考え方と取組状況を伺う</p> <p>(2) EBPMの海外や国内自治体における活用事例から、本市で取り入れられる事例はあるか伺う</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 子育て支援における待機児童解消以外の課題と解決手法を伺う</p> <p>(2) 屋内遊具施設設置を求める声に対してどう応えるのか、子供の遊び場整備の考え方を伺う</p> <p>3 デジタルをツールとした地方創生について</p> <p>(1) 移住（U I J ターン）しやすい大崎市実現のために何が必要か伺う</p> <p>(2) 地域のデジタル人材育成の方策を伺う</p> <p>(3) ワークেশョンを定着させるために何が必要か伺う</p> <p>4 学校教育環境整備について</p> <p>(1) 時代と地域に即した特色ある学校づくりの必要性を伺う</p> <p>(2) 「授業時数特例校制度」の活用を視野に特色ある学校をデザインできないか伺う。夢が持てる教育を</p>
4	4	山口文博	<p>1 大崎市の人口減少に対する課題と対策について</p> <p>(1) 人口減少が地域の生活に与える影響について伺う</p> <p>ア 生活関連サービスの縮小について伺う</p> <p>1) 人口減少によって、生活関連サービス（小売、飲食、娯楽、金融機関、医療機関等）の立地に必要な人口規模を割り込む場合には、地域からサービス産業の撤退が進み、生活に必要な商品やサービスを手に入れることが困難になるなど、日々の生活が不便になり人口減少が進む現状について、見解を伺う</p> <p>イ 税収減少による行政サービス水準の低下について</p> <p>1) 人口減少に伴う地方財政に大きな影響を及ぼすが、社会保障やインフラ整備について伺う</p> <p>ウ 地区コミュニティの機能低下について伺う</p> <p>1) 地区防災力の低下について</p> <p>2) 若年層の減少により、地区継続が困難になることについて</p> <p>3) 農業の担い手不足による、農地や地区環境の維持管理について</p> <p>(2) 人口減少対策として、新たな住宅地の造成や企業誘致について伺う</p> <p>ア 鹿島台地域の復興には、水害に強い住宅地の造成が必要と考えるが、見解を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	2	伊勢健一	<p>イ 過疎地域に住宅造成を行い、条件付で子育て世代に無料提供してはどうか、見解を伺う</p> <p>ウ 脱炭素関連の企業誘致について伺う</p> <p>1) 二酸化炭素を分離、回収、有効利用や運送、地下等に貯留する技術等の企業（CCUS）誘致について</p> <p>2) 大崎市内の経済、産業活動等の拡大について</p> <p>3) 就労による若年層の定住について</p> <p>4) 税収の増額について</p> <p>1 本市における保護司活動への支援について</p> <p>(1) 保護司適任者に関する情報提供及び本市職員の推薦の現況について</p> <p>(2) 保護司が面接できる場所の確保について</p> <p>(3) 更生保護ボランティアに対する顕彰について</p> <p>(4) 保護司に協力した事業主に対する優遇措置について</p> <p>(5) 地方再犯防止推進計画について</p> <p>2 防災について</p> <p>(1) 政府が来年度から育成に乗り出す、「災害専門ボランティア」の本市の考え方について</p> <p>3 建設行政について</p> <p>(1) 古川地域小林下行政区の市道の舗装整備について</p> <p>(2) 上水道未給水世帯解消への考え方について</p> <p>4 教育について</p> <p>(1) 古川北部地区の幼小中連携教育の現状について</p> <p>(2) 幼稚園、小中学校における国旗・国歌の指導の現状について</p> <p>(3) 大崎市図書館における電子図書導入の可能性について</p> <p>(4) 小学校高学年における専科指導への対応について</p>
6	19	遊佐辰雄	<p>1 米価の下落対策と農業による所得アップ対策について</p> <p>(1) このままでは米価は大暴落、市としての対策はあるのか</p> <p>(2) 過剰在庫を買い入れるよう政府に強く求めることについて</p> <p>(3) 生活困窮者への食糧支援を政府の責任ですべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(4) ミニマムアクセス米の輸入は縮小、中止すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(5) 産地交付金等の増額と主食の価格補償及び需給の安定について</p> <p>2 巨大風力発電事業計画への対応について</p> <p>(1) 国民の財産を住民の同意なしでの貸付け等の許可権限で市の対応はないのか</p> <p>(2) 環境破壊と調和は図れるのか</p> <p>(3) 世界農業遺産の指定地に悪影響ではないのか</p>
7	5	山口 壽	<p>1 大崎市合併 15 年を振り返り、伊藤市長自身が 15 年前に描</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
8	28	佐藤 勝	<p>いた構想と15年の実績を見た場合どのように評価するのか</p> <p>(1) 行政改革の進め方は、各地域(旧1市6町)で市民生活に問題なく総合支所機能が充実しているのか伺う</p> <p>(2) 宮城県第2の都市構想は、これまで人口減少に歯止めがかからない対策をどのように評価しているのか伺う</p> <p>(3) 大崎がブランド化を推進している農業、産業がいま一つ伸びない状況をどのように考えているのか、市長の見解を伺う</p> <p>(4) 新しい道路建設において、通行が少ない交通網整備計画をどのように考えているのか、市長の見解を伺う</p> <p>(5) 福祉の充実、合併15年でようやく介護福祉が整ってきているが、これからも増える一方の高齢福祉対策は万全と言えるのか、考えを伺う</p> <p>(6) 宮城大学誘致も考えた学園都市大崎の構想は白紙なのか、大学誘致をどのように考えているのか伺う</p> <p>1 県の化女沼公園整備計画と大崎市地域振興拠点施設のあり方報告書の連動性について</p> <p>(1) 県は2月、化女沼公園整備を令和7年以降から30年ぶりに着手する計画と発表。大崎広域生活圏の広域かつ多様なレクリエーションニーズに対応するため63ヘクタールの都市公園事業としてスタートする予定である。</p> <p>そこで、大崎市地域振興拠点施設のあり方報告書と連動させ、北の玄関口エリアに栗原市を巻き込んでの運動を展開するべきと考えるがいかがか。</p> <p>常に仙台都市圏一極集中に警鐘を鳴らしている伊藤市長ですが、この地域は宮城県の北の玄関、扇の要にどのような地方創生を描いているか、市長会の会長としての考えも含めての所見を求める</p> <p>ア 県の土木・建築行政推進計画アクションプランで示された化女沼公園整備事業。着手するまでこれから4年、千載一遇のチャンスと捉え、市の戦略をどう組立てそのアプローチを今こそ国・県に求めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>市長は県議時代からの懸案だった事案にどのような行動を起こすことを考えているのか</p> <p>イ この北の玄関口エリアを持続開発目標として位置づけ、その優位性を市総合計画に組み入れるべきである。</p> <p>暮らしを支える社会と地球環境に関心を持ち、食と健康寿命を重点として、地域振興拠点施設の整備を推進するべきと考えるが、実現可能性と整備の流れ、運営主体をどう読み、総合計画の中に組み入れ、どう含み益を持たせようとしているのか</p> <p>ウ 世界農業遺産と化女沼ダムと公園、蕪栗沼・周辺水田のラムサール条約登録湿地を生かす農畜産物のオーガニック農業は、本市の大きな魅力である。売り手と買</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
9	10	氷室勝好	<p>い手の互いの顔と心が見え、都市の活力を呼び込める地域振興拠点施設整備の基本計画については、スピード感を持って年度中に策定すべき事案である。</p> <p>これまでの答弁では、大崎市地域振興拠点施設のあり方報告書に示されたように、庁内の検討会と関係地区、団体などと協議を重ね、一定の機運が醸成されて「実施計画から概ね5年」と答えているが、どのようなプロセスでそのような答弁になったのか</p> <p>エ 一級河川萱刈川改修期成同盟会を設置し、蕪栗沼遊水機能の再点検と検証について、栗原市とともに県土木部に要請し、冠水対策を一日も早く強化すべきである。これも北の玄関口エリアの課題であるが、それと併せて岩出山真山から古川川北、そして田尻の一带は市北部丘陵地域であり、「食べチョコ」のポテンシャルと「農のこころ」が一步進んでいる値域（価値のある地域）である。</p> <p>来年度に地域おこし協力隊の募集も考えられるが、これらの振興策について、市長の所見を伺う</p> <p>オ 化女沼公園整備促進同盟会を組織し、今度こそ県北の基幹公園として物流センター機能と災害避難センター機能等を併せ持つ自然との共生、圏域県民の健康増進に寄与できる公園計画の策定を県に求めるべきと考えるがいかがか</p> <p>カ 地域振興拠点施設は地域を元気にする地方創生の柱であり、アフターコロナを見据え「宝の都・大崎」を実現する早道でもあり、行政にスピード感を持たせることで建設部の担当が妥当と答弁をしているが、本当に違和感がなく最良と思っているのか</p> <p>1 第2次大崎市総合計画後期基本計画策定について</p> <p>(1) 令和3年度で基本計画の前期5年が経過することから、これまでの評価、検証の結果及び内容を伺う</p> <p>(2) 社会情勢の変化を踏まえた将来像の実現に向けた後期基本計画の素案を伺う</p> <p>(3) 総合計画審議会への諮問及び審議内容について伺う</p> <p>(4) 今後の市政やまちづくりに関する市民意識調査において、「大崎市が行っている行政サービスについての分析」による市民ニーズへの対応について伺う</p> <p>2 大崎市都市計画マスタープラン見直し業務について</p> <p>(1) マスタープランは、平成25年3月から20年間を計画期間とし、10年後を中間目標年次としている。今年上位計画の見直しや社会情勢の変化等により、実施事業の評価、検証作業の内容及び所見を伺う</p> <p>(2) 今年度に部門別構想、地域別構想の検討との方針であるが、基本的な指針を伺う</p> <p>3 市有財産の有効活用状況について</p> <p>(1) 第5次集中改革プランに遊休資産の売却が記載されている中において、普通財産の管理状況と売却可能な資</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
10	6	佐藤仁一郎	<p>産の現況について伺う</p> <p>(2) 令和2年度の売却可能資産の売却実績及び、今年度の売却状況について伺う</p> <p>(3) 売却可能な資産が長年にわたり、除草などの保全管理状況のみの資産が見受けられるが、その要因と今後の取組について伺う</p> <p>1 加速する高齢化社会における介護現場への支援について</p> <p>(1) 市内特別養護老人ホーム入所希望者の待機状況を伺う</p> <p>(2) 職員不足により入所定員に満たない特養施設はあるか伺う</p> <p>(3) 市として福祉の人材登用につながるイメージ戦略を実施する考えはないか伺う</p> <p>(4) 施設の老朽化により修繕が必要になってきている施設への支援策の充実について伺う</p> <p>2 大崎市公共施設等総合管理計画個別施設計画の方向性について</p> <p>(1) 小学校統合などに伴う跡地活用の地元での協議状況及び方向性について伺う</p> <p>(2) 大崎市公共施設等総合管理計画個別施設計画において、三本木公民館（学習センター）は、廃止の方向性が示されている。 しかし、公民館施設の少ない地域事情から、活動のよりどころなどであることから、当施設の継続使用に向け、方針を継続及び要検討に位置づけすべきと考えるがいかがか伺う</p>	
11	13	相澤久義	<p>1 不登校問題について</p> <p>(1) 本市各小中学校の不登校児童生徒数は、全体の児童生徒の何%か</p> <p>(2) 本市の不登校児童生徒への対応、成果は</p> <p>(3) 先日、富谷中の「不登校特例校」指定、来春、旧西成田小に分教室開設が、テレビ、新聞で報道されたが、本市教育委員会では特例校制度の活用に向け検討されたか。また、検討しているか</p> <p>(4) 富谷市の取組についての本市の考え</p> <p>2 スポーツ振興について</p> <p>(1) 老朽化体育施設の改修計画内容</p> <p>(2) 総合運動公園（スポーツパーク）整備の考え</p> <p>(3) パラスポーツ普及、推進の考え</p> <p>3 都市計画と都市計画税について</p> <p>(1) 三本木地域の都市計画実施状況について</p> <p>(2) 都市計画道路整備について</p> <p>ア 善並田公園線（善並田から相ノ沢）について</p> <p>イ 新幹線東線一号線、市道牛沼線までの延伸について</p> <p>(3) 三本木地域都市計画（居住区域）の開発が進まないのはなぜか</p> <p>ア 新たに居住区域拡大計画は</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	25	木内知子	<p>(4) 都市計画公園整備について ア 新世紀公園三本木パークゴルフ場改良工事について イ 館山公園周辺整備について</p> <p>(5) カウボーイ跡地の現況と今後の見通し。本市の取組の 考え</p> <p>1 生理の貧困について (1) コロナ禍を契機とした生理用品の学校のトイレ配備の 恒常化に向けて、関係部局との話し合いはいかに進めら れているのか (2) アンケートを踏まえた養護教諭との情報交換と情報共 有について (3) 生理用品の確保について (4) モデル校をつくってはどうか</p> <p>2 子どもの医療費助成への対象年齢拡大と所得制限撤廃につ いて (1) これまでの論議を踏まえ、実現に向けての恒久的な財 源確保の検討の進捗状況について (2) 実施時期は、おのおの、いつ頃をめどに論議されてい るのか</p> <p>3 防災体制整備について (1) 指定避難所の分散、拡充について (2) 各地区内の避難行動体制整備とその情報共有について (3) 避難路の冠水対策について (4) 松山須摩屋地区、下伊場野地区の水防災拠点の整備に ついて</p>
13	11	佐藤弘樹	<p>1 地域自治組織について (1) 期待される役割と組織活動の総合的な検証への考えは (2) 人財育成手法と組織運営への支援体制は (3) 地域包括ケアシステム構築との連携状況は</p> <p>2 新型コロナ対策について (1) 小中学校で感染予防対策の周知と徹底はされているか (2) 学外活動で3密対策は図られているか (3) 休校時におけるタブレット端末活用状況は (4) スクールサポートスタッフの加配状況は (5) 教職員のワクチン接種状況はどうか (6) 文化施設及び公民館等での通信環境及び自動検温機整 備の考えは</p>
14	24	山村康治	<p>1 みどりの食料システム戦略と本市の取組について (1) 農水省が5月に策定した「みどりの食料システム戦 略」は、温暖化対策を含む環境負荷低減と生産性向上 を目指し2050年までの目標を設定した。このみどり戦 略が農政の柱になると思うが、このことへの市長の見 解を伺う (2) みどり戦略では、有機農業を全農地面積の25%、100</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	9	佐藤講英	<p>万ヘクターに拡大，化学農薬使用量を 50%減，化学肥料使用量を 30%減としている。本市の環境保全型農業直接支払交付金事業は，取組農家や面積が年々減少傾向にある。2050 年までのカーボンニュートラル達成にはさらなる普及拡大強化を図るべきと思うが，推進策をどう考えているのか</p> <p>(3) 地産地消の取組強化，学校給食での地場産食材使用率が 20%台と低下している。その要因をどう捉えているのか伺う，また，使用率向上対策の考えを伺う</p> <p>(4) 新規就農者支援を拡充すべきと思うが，所見を伺う</p> <p>2 市営住宅整備について</p> <p>(1) 令和 2 年に「大崎市公営住宅等長寿命化計画」の 2 次計画が示されたが，管理戸数 1,993 戸のうち耐用年数を超えているものが 763 戸ある。中でも耐用年数が 30 年でも築後 50 年以上経過し，老朽化の著しいものが相当数ある。本計画は令和 11 年までの 10 年計画だが住環境の改善を図るなら前倒しでの取組を考えるべきと思うが，所見を伺う</p> <p>(2) 市営住宅で空き家となっている敷地が雑草に覆われ，中には住宅の内部にまで雑草が生えているところもある。管理の在り方をどう考えているのか伺う</p> <p>(3) 遊休市有地への若者定住住宅建設の考えを伺う</p> <p>1 地域の活性化と人口減少対策について</p> <p>(1) 国勢調査における自然動態や社会動態の認識と大崎市総合計画について</p> <p>(2) 児童減少と中学校生徒の増加と本市の現状について</p> <p>(3) 空き家対策について</p> <p>2 障がい者の就労支援と交通手段について</p> <p>(1) 市内及び大崎圏域での就労と通勤について</p> <p>(2) 大崎定住自立圏共生ビジョンと公共交通機関の整備について</p> <p>3 次代を担う子供たちの健康，体力と学校給食について</p> <p>(1) 学校給食基本構想・基本計画の取組について</p> <p>(2) 学校給食費公会計化の現状について</p> <p>(3) 児童の食育と食べ残しについて</p> <p>4 コロナウイルス対策と学力について</p> <p>(1) 全国学力テストや標準学力調査結果の考察について</p> <p>(2) 本市の学校オンライン学習対応の現状について</p> <p>(3) 感染した児童のケアについて</p>
16	27	小沢和悦	<p>1 三本木パークゴルフ場を，満足していただけるようにすることについて</p> <p>(1) 改善工事の目標は，完璧なパークゴルフ場にすることであるべきでは</p> <p>(2) パークゴルフ場らしからぬものにした原因と責任に見合った負担を求めることについて</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
17	14	鎌内つぎ子	<p>(3) 指定管理者との協議、合意を前提とした協働の姿勢について</p> <p>2 民生児童委員への活動費実費支給について</p> <p>(1) 実費支給は可能か。国による地方交付税措置の有無</p> <p>(2) 全国では支給している自治体と支給していない自治体があるが、大崎市ではなぜ1円も支給していないのか</p> <p>(3) 議会と民児協との意見交換会では、実費支給の要望があったが市長はこれまでどおりと考えるのか、「支給」の方向で検討するのか</p> <p>3 市役所内の「社会福祉主事任用有資格者」調査と人事配置について</p> <p>(1) 6月議会での指摘を受けて、市長は調査したと思うが、その結果はどうだったのか</p> <p>(2) 保護行政に必要な有資格者の任用、及び保護行政に意欲のある職員への資格取得の機会創出について</p> <p>4 大崎市の入札結果に見られる不思議な現象をどう見ているか</p> <p>(1) 「不思議な現象」の有無の認識について</p> <p>(2) 川崎町を上回る役所ぐるみの不正の疑いを告発する文書が送られてきたと思うが、調査して事実確認をしたのか</p> <p>(3) 疑われるような人事や企業との接触を避けることについて</p> <p>5 古川本鹿島地域住民の国道への、安全な出入り口確保について</p> <p>(1) 国道4号と47号への交差点による接続の必要性への認識の有無とこれまでの考え方と努力について</p> <p>(2) 稲葉小泉線への接続も含めた積極的な取組姿勢について</p> <p>6 大崎市墓地条例と市有墓地管理規則策定に向けた取組について</p> <p>(1) 昨年6月議会で提起した問題点の把握と条例化、規則化に向けた取組の到達点について</p> <p>(2) 条例化等に向けた今後のスケジュールについて</p> <p>1 コロナ対策について</p> <p>(1) 12歳から64歳までのワクチン接種の見通しについて</p> <p>(2) 無症状の方、希望者が誰でもPCR検査を受けられるようにすべきではないか</p> <p>2 児童の健全育成について</p> <p>(1) 古川第三小学校の放課後児童クラブの送迎等について</p> <p>(2) 通学路の安全確保について</p> <p>3 全公共施設の照明のLED化について</p> <p>(1) 現状はどうなっているのか</p> <p>(2) 地球温暖化対策実行計画の努力はなされているのか</p> <p>(3) 全公共施設の照明のLED化を計画的に推進すべきと考えるが、所見を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
18	8	八木吉夫	<p>4 入札について</p> <p>(1) 支所課題の入札において、「地域限定」等の対応をすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 常襲冠水地区対策について</p> <p>(1) 頻発する異常気象，ゲリラ豪雨，台風による内水冠水対策の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 市街地にある水田を田んぼダムとして貯留池に活用することについて伺う</p>
19	18	関 武徳	<p>1 県立高等技術専門校再編統合計画による，本市への影響と今後の対応の考えについて</p> <p>(1) 地元事業者の人材確保への影響をどう受け止めるのか</p> <p>(2) 影響縮小への県との協議及び具体的対策，取組の考え</p> <p>(3) 現大崎高等技術専門校跡地，校舎の利活用の考えを伺う</p> <p>2 指定管理者制度における，事業効果と運営課題の共有認識について</p> <p>(1) 指定管理者の運営課題等の共通認識はどう図られているのか</p> <p>(2) 施設活用，利用向上への協議や支援はどう図られているのか</p> <p>(3) 社会教育施設の今後の位置づけと組織体制の考え方</p> <p>3 学校統合における，跡地活用地域協議への市の対応について</p> <p>(1) 跡地活用について，これまで市に求められた課題をどう整理し対処しているのか</p> <p>(2) 地域の過重負担とならないよう，手だては講じられているのか</p> <p>(3) 市からの跡地利活用への情報提供等はどうか</p> <p>4 七日町西地区再開発と中心市街地活性化への支援の取組について</p> <p>(1) これまでの対策，整備の成果はどのように検証されているのか</p> <p>(2) 再開発のメイン施設が見えてきた中で，隣接エリアを含めた活性化，にぎわい創出への課題と対策の考えを伺う</p> <p>(3) 地域交流センターの設置効果をどう生み出していく考えか</p>
20	12	中鉢和二郎	<p>1 教育機会確保法への対応について</p> <p>(1) 2017年2月の教育機会確保法施行から4年半。教育を受ける権利を守るため，学校や行政とフリースクールとの連携が課題になっている。この間，法の影響を受け，大崎市としてフリースクール等の民間施設，団体との連携をどのように行ってき</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>たか何う。</p> <p>さらに、そこから見えてきた課題は何であるか、どのように解決しようとしているのか、所見を伺う</p> <p>2 12歳未満の子供のコロナ対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症は、波のように感染の拡大と縮小を繰り返し、現在、第五波に見舞われている。終息はまだまだ先のようなのだが、ワクチン接種により「発症」と「重症化」は格段に抑制されてきた。そうした状況を反映してか、昨今、ワクチン未接種者の割合の多い若い年代の感染確認が増加している。年末にかけ12歳以上の希望者に接種が進めば、12歳以上については「発症」と「重症化」は防げられると思われる。しかし、ワクチン接種の対象となっていない12歳未満の子供たちをいかにしてコロナから守るのか。国も県もこのことについては明確な指針を示していないが、一番身近な基礎自治体である大崎市は、市内の12歳未満の子供たちの感染予防に責任を持つべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 緊急事態宣言下の事業継続支援について</p> <p>(1) 前問で述べたとおり新型コロナウイルス感染症は、現在、第五波の襲来を迎えている。8月27日には宮城県に対し緊急事態宣言が発出され、経済は超自粛モードに入っている。</p> <p>これまでも様々な支援策はタイムリーに措置されてきたと考える。しかし、人流抑制の長期化と2度目となる緊急事態宣言による強い抑制効果で、このままでは、早晚、経営の継続が危ぶまれる事業者が続出する事態が想定される。特に、観光業は季節変動が大きな業種で9月後半から11月前半が最大の書き入れどきであり、このまま緊急事態の影響が長期化し売上高が落ち込めば、まさに致命傷になることは火を見るより明らかである。</p> <p>直ちにさらなる事業継続支援策を講ずるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 コロナ禍で見た大崎市の情報発信能力の弱さについて</p> <p>(1) コロナ下で、市民はタイムリーかつ正しい情報を常にも増して求めている。その情報は、コロナ下を生き抜く市民の様々な判断をサポートするものである。しかし、市内の陽性者確認情報すらタイムリーに更新されていない。</p> <p>ワクチン接種状況については地域別、年代別、男女別や優先接種対象者の接種の進捗状況なども市民の知りたい情報である。また、ワクチン接種予約の空き状況も知りたいとの声もある。</p> <p>こうした市民の声に応えようとしない大崎市の情報発信能力の弱さについて、どのような所見か伺う</p>	